

伊丹ジュエリーカレッジ で学ぶジュエリーとは？

\\ しっかり身につく！ \\

基本技術とインターナショナルな ジュエリーデザイン。

彫金・鍍金（ロストワックス）を軸とするジュエリー制作のための基本技術をしっかりと身につけることをはじめジュエリーデザインをグローバルな視点から学ぶことができます。そんな「インターナショナルな刺激」をきっかけに、海外へ出て活躍する修了生も数多くいます。

少人数制で

\\ はじめての方も安心！ \\

充実の設備と個別指導。

ジュエリー制作にふさわしい充実の設備と少人数制ならではの行き届いた技術指導。初心者の方も安心して基礎から学ぶことができます。もちろん、経験者の方にはさらにレベルアップをはかっていただけるように指導します。

伊丹ジュエリーカレッジならではの“7つ”の特徴をご紹介します。

年間200日 \\ みっちり！ \\ 朝10時から夕方5時まで。

伊丹ジュエリーカレッジの1週間は火曜日からはじめます。主に火曜日から金曜日までの4日間、朝10時～夕方5時までの1日7時間（昼休憩を含む）、みっちり「ジュエリー漬け」に。授業日数は年間約150日。

その他、土曜日には特別講義や自習日も（約50日）。

国内外にて活躍中の ジュエリーデザイナーや作家

\\ ユニークな講師！ \\

が勢ぞろい。

国内・海外にて現在活躍中のジュエリーデザイナーや世界各国で個展などを繰り広げるアーティストなどを講師に迎えております。基礎的な技法から現場で通用する商品製作まで、豊富な経験と幅広い視点を持つ多彩な講師陣から多くのことを学べるのが特徴です。

講師についてはP5.P6で詳しくご紹介しています！

いつも新しいアート・デザインに触れて。

\\ ミュージアムで学ぶ ジュエリー \\

伊丹ジュエリーカレッジは伊丹市立工芸センターが管理・運営しています。工芸センターは国際公募展である「伊丹国際クラフト展」をはじめ、国内外の優れた工芸作品やジュエリーの企画・展示を行う全国的にも珍しい公立の工芸（クラフト）振興施設です。

年間を通じて開催されるさまざまな企画展を見ることにより、最先端の「工芸・アートデザイン」に触れながら「ジュエリー」を学ぶことができます。

ジュエリーだけじゃない！

\\ 特別講義 \\ で出会う新たな感性。

工芸センターという情報と人々が行き交う環境を活かし、伊丹ジュエリーカレッジでは各分野の第一線で活躍するデザイナーや作家による、特別講義が行われています。ジュエリーだけではない、さまざまなジャンルのプロフェッショナルから刺激を受けることで、既存概念にとらわれないオリジナルでクリエイティブな発想能力や感性を磨くことができます。受講生の中には「新しい自分に出会えた。」という声も多く、インパクトのある授業として好評です。

\\ 自習日も好評です！ \\

受講生が自主的にジュエリー制作に
取り組める環境。

「あの課題にもう一度取り組みたい」「もう少しこの作品の完成度を高めたい」など、ベテラン講師による指導から学び得た技法や考え方を復習し、在校中から自発的な制作ペースを育むために、授業日以外の約50日間を「自習日」として設定しています。「復習も兼ね自分のペースで作業ができ、とても有効だった。」との声。

伊丹ジュエリーカレッジでは、修了後の活動も視野に受講生の自主性を尊重した環境作りを心がけています。



受講生が自習日に制作した作品

板を切り抜いた後、ヤスリをかけているところ。



鍍金の授業で鋳型に流し込む金属を溶かしているところ。



デザイン画の授業の様子

